

## 試験研究、調査の概要

### Ⅱ 班別研究

試験研究課題	予算区分	研究期間	担当班	平成28年度試験研究成果の概要
<p>【2016林003】 DNA解析によるフクギ雌雄判別技術の確立及び有用形質に関する遺伝的解析 1)フクギの雌雄判別技術の確立 (1)フクギのRAD-seq解析</p>	<p>県単 (沖縄県産業振興重点研究推進事業)</p>	H28-30	【研究企画班】	<p>フクギ雌株と雄株のRAD-seq解析を行った結果、平均で200万種類を超えるRADタグが、約4,100万個得られた。その中に、雄株特異的なタグが約98万種類、雌株特異的なタグが約71万種類存在した。</p>
<p>【2016林003】 DNA解析によるフクギ雌雄判別技術の確立及び有用形質に関する遺伝的解析 1)フクギの雌雄判別技術の確立 (2)フクギのゲノム解読</p>	<p>県単 (沖縄県産業振興重点研究推進事業)</p>	H28-30	【研究企画班】	<p>フクギGsNo.3のゲノム配列を構築した。ゲノムの総塩基は約5億8千万で、構成するコンティグの数は、約78万であった。ゲノムの特徴を表す指標であるGC含量は、モデル植物であるシロイヌナズナと同等の38%であった。</p>
<p>【2016農004】 組織培養により増殖したパインアップル種苗の変異の検出 1)組織培養により増殖したパインアップル品種「沖農P17」の変異の検出</p>	<p>その他 (熱帯果樹優良種苗普及システム構築事業)</p>	H28-31	【研究企画班】	<p>パインアップル「沖農P17」の培養開始9か月後の液体培養苗、固体培養苗を用いて、DNA配列比較を実施した結果、通常苗と比較して、約1万箇所の多型変異が確認され、変異割合は調査対象箇所の約0.9%であった。</p>
<p>【2016農004】 組織培養により増殖したパインアップル種苗の変異の検出 2)パインアップル品種「ジュリオスター」培養苗の変異の検出</p>	<p>その他 (熱帯果樹優良種苗普及システム構築事業)</p>	H28-31	【研究企画班】	<p>パインアップル「ジュリオスター」の培養苗で多葉症を示す個体と示さない個体を用いて、DNA配列比較を実施した結果、通常苗と比較して、約6千箇所の多型変異が確認され、変異割合は調査対象箇所の約0.7%であった。</p>
<p>【2014農005】 パパイヤ野生種が持つウイルス抵抗性のマーカーをゲノムワイドな多型探索法で開発する 1)戻し交雑個体におけるPLDMV抵抗性評価とウイルス抵抗性候補遺伝子の検出</p>	<p>受託 (科学研究費助成事業)</p>	H26-28	【研究企画班】	<p>育成した戻し交雑集団のPLDMV抵抗性を人工接種により評価した結果、パパイヤと同様な病徴を示す感受性個体は観察されなかった。そして、全ての戻し交雑個体は、マウンテンパパイヤ由来のウイルス抵抗性候補遺伝子であるSTK遺伝子を保持していた。</p>
<p>【2014農005】 パパイヤ野生種が持つウイルス抵抗性のマーカーをゲノムワイドな多型探索法で開発する 2)戻し交雑個体の染色体観察</p>	<p>受託 (科学研究費助成事業)</p>	H26-28	【研究企画班】	<p>育成した戻し交雑集団の染色体を観察した結果、異質2倍体は存在せず、異質3倍体、異質4倍体、異質5倍体が存在した。母本として用いた属間雑種の減数分裂の異常に伴う非還元配偶子や倍数性変異の関与によるものと考えられた。</p>
<p>【2014農001】 1.カラフルな肉色の特色あるカンショ品種の開発</p>	<p>県単 (沖縄農業を先導する育種基盤技術開発事業)</p>	H26-30	【作物班】	<p>育種の基盤となる交配から3次選抜を実施した。人工交配では42組合せから6,006粒の種子を得た。1次選抜では283系統、2次選抜では21系統、3次選抜では4系統の有望系統を選抜した。</p>
<p>【課題番号なし】 特産畑作振興対策事業・カンショ奨励品種の増殖と種苗配布</p>	<p>県単 (糖農課事業)</p>	終期なし	【作物班】	<p>各市町村に向け、「ちゅら恋紅」と「沖夢紫」は各0.6aの苗圃を設け、2,000本の苗をつくり、それぞれ1,560本を配布した。「備瀬」と「ちゅらまる」は各0.4aの苗圃を設け、1,500本の苗をつくり、それぞれで約750本の苗を配布した。</p>
<p>【1986農001】 有機物連用試験</p>	<p>県単</p>	S61-	【土壌環境班】	<p>ジャーガル圃場において、キャベツを供試作物として堆肥等有機物の長期連用による土壌への影響を調べた。キャベツの収量は、1作目に比べ2作目は全試験区で減少した。試験区間で比較すると、有機物施用区の収量は1、2作ともに基準区より多い傾向にあった。緑肥施用区は1、2作目ともに、基準区に対して同等ないしやや低収で推移した。</p>

試験研究課題	予算区分	研究期間	担当班	平成28年度試験研究成果の概要
【2011農028】 作物の微量要素欠乏・過剰による障害発生調査と対策技術の検証	県単 (H23のみ光交付金)	H23-28	【土壌環境班】	生産現場や各普及センター(課)から相談のあった要素欠乏・過剰障害が疑われる圃場における現地調査、土壌や植物体の化学分析を行い、その結果に基づき、資材施用などの提案を行った。また、サイインゲンにおける簡易水耕栽培を行い、要素欠乏・過剰症の特徴を把握した。
【2016農011】 有機質資材を活用した施肥モデルの開発	その他 (人と環境にやさしい持続的農業推進事業)	H28-30	【土壌環境班】	島尻マーヅでのつる性サイインゲン栽培において、有機質資材を用いた化学窒素削減栽培を行ったところ、慣行栽培と同等以上の収量であった。また、島尻マーヅにおける埋設試験により、堆肥等有機質資材の施用3ヶ月間に作物が利用可能な形態別窒素総量を推定した。
【2016農010】 施設野菜におけるリン酸と加里の減肥の検討 国頭マーヅにおけるリン酸と加里減肥によるサイインゲンの栽培試験	その他 (人と環境にやさしい持続的農業推進事業)	H28-30	【土壌環境班】	農家の園芸畑ではリン酸と加里が蓄積傾向にあり、対策が必要である。そこで、国頭マーヅ圃場で土壌中のリン酸と加里の蓄積レベルが異なる試験区を設定し、それらの区でサイインゲンを対象にリン酸と加里を同時減肥した栽培試験を実施した。リン酸と加里が蓄積した圃場でのサイインゲン栽培は、減肥が可能であった。
【2012農017】 沖縄の自然環境に配慮した農業活性化支援事業 赤土流出削減効果の検証 1)酸性土壌に適した草種の選定	その他 (沖縄振興特別推進交付金)	H24-31	【土壌環境班】	赤土流出対策に有効で酸性土壌に適した草種を選定するため、国頭マーヅ人工圃場において26草種を栽培し、発芽揃いや生育調査を行った。春播きのリビングマルチとしてはレッドトップやトールフェスク等、カバークロップとしてはミレット、エンバク、スーダングラス等が適していると考えられた。また、マメ科ではクロタラリア・スペクタビルス、クロタラリア・ジュンシア、セスパニアの出芽揃いが良好であった。
【2012農017】 沖縄の自然環境に配慮した農業活性化支援事業 赤土流出削減効果の検証 2)植生帯用草種ベチパーの2節苗増殖法の検討	その他 (沖縄振興特別推進交付金)	H24-31	【土壌環境班】	赤土流出対策として植生帯への利用が広がっているベチパーについて、簡易な増殖法を検討した。ベチパーを地際より刈取り、連続した下部節(2節苗)を水道水、石灰水50倍液、M剤250倍液で浸漬を24時間行ったところ、発芽率はM剤で高い傾向を示したが、最も高い発芽率は24.4%であった。
【2008農0035】 農地管理実態調査	受託 (内閣府沖縄総合事務局)	H25-32	【土壌環境班】	県内18地点(定点)において、土壌断面調査および農地管理のアンケート調査を実施した。普通畑で土壌炭素量が30 t/haを超えた地点は、かぼちゃ1地点、サトウキビ6地点であり、サトウキビ畑の炭素量が比較的多い傾向を示した。沖縄県の定点農地における30cm深の土壌炭素量は、有機物施用の有無に関わらず、普通畑、施設、草地のいずれの地目においても全国平均を大きく下回った。
【2013農009】 オクラ栽培における主要3土壌の適正な肥効調節型肥料の施肥基準の確立 1)ジャーガルにおける施用基準の検討	受託 (施防協)	H25-28	【土壌環境班】	ジャーガルのオクラ春植え栽培では、肥効調節型肥料を慣行窒素量(28Nkg/10a)およびその7割量(20Nkg/10a)の施用で収量を維持したまま省力化が図られた。また、どの施用量も慣行施用よりコスト試算でプラス評価であった。
【2013農009】 オクラ栽培における主要3土壌の適正な肥効調節型肥料の施肥基準の確立 2)島尻マーヅにおける施用基準の検討	受託 (施防協)	H25-28	【土壌環境班】	島尻マーヅのオクラ春植え栽培では、肥効調節型肥料を慣行窒素量(28Nkg/10a)の施用により、収量を維持したまま省力化が図られたが、単価の高い初期収量がやや低くなるためコスト試算でわずかにマイナス評価であった。また、肥効調節型肥料の慣行窒素量の7割施用(20Nkg/10a)では、その傾向が顕著であった。
【2013農009】 オクラ栽培における主要3土壌の適正な肥効調節型肥料の施肥基準の確立 3)国頭マーヅにおける施用基準の検討	受託 (施防協)	H25-28	【土壌環境班】	国頭マーヅのオクラ春植え栽培では、肥効調節型肥料を慣行窒素量(28Nkg/10a)の施用により、収量を維持したまま省力化が図られ、コスト試算は県基準区と同等であった。また、肥効調節型肥料の慣行窒素量の7割施用(20Nkg/10a)は、単価の高い初期収量で劣る傾向が顕著にみられ、コスト試算ではマイナス評価だった。

試験研究課題	予算区分	研究期間	担当班	平成28年度試験研究成果の概要
<p>【2015農010】 豪雨に対応するためのほ場の排水・保水機能活用手法の開発 沖縄県における土壌流亡・湿害を緩和する保水・排水機能改善技術の開発 国頭マージ(暗渠未整備圃場)における試験</p>	受託(国庫)	H27-31	【土壌環境班】	農研センター名護支所の国頭マージにおいて、試験ほ場を設置し、秋まきでソバを栽培した。ウッドチップ・トレンチの設置およびカットソーラーの施工をすることにより、ソバの湿害を緩和できることが示唆された。
<p>【2015農004】 先進技術を活用した総合的病害虫・雑草管理技術体系の確立 1)IPM実践指標に向けたマンゴー害虫の生態および防除に関する試験</p>	国庫補助(農水省)	H27-29	【病虫管理技術開発班】	天敵製剤スワルスキーカブリダニの定着とチャノキイロアザミウマに対する防除効果を安定させるために、バック製剤とボトル製剤の組合せ、バンカーシートの利用などを検討した結果、いずれの方法でもバック製剤単体利用時と同等の定着と防除効果が得られた。
<p>【2015農004】 先進技術を活用した総合的病害虫・雑草管理技術体系の確立 2)IPM実践指標に向けたキクの病害虫の生態および防除に関する試験(虫害)</p>	国庫補助(農水省)	H27-29	【病虫管理技術開発班】	クロゲハナアザミウマの卵に対する15薬剤の殺虫効果を調べた。その結果、高い殺卵効果を示す剤は無く、70～90%の中程度の殺卵効果を有する剤もプロチオホストとピフェトリンの2剤のみと少なく、葉組織に産みこまれた卵の防除は薬剤のみでは難しいことが明らかとなった。
<p>【2015農004】 沖縄型総合的病害虫・雑草管理技術推進事業 3)IPM実践指標に向けたキクの病害虫の生態および防除に関する試験(病害)</p>	国庫補助(農水省)	H27-29	【病虫管理技術開発班】	キク栽培前に緑肥作物が栽培されている緑肥作物が土壌還元消毒で利用できるか否かについて検証した結果、クロタラリア地上部が還元土壌消毒で利用される有機物(米ぬか)の代替として利用できることを圃場レベルで明らかにした。
<p>【2015農004】 沖縄型総合的病害虫・雑草管理技術推進事業 病害虫防除農業環境リスク低減技術確立</p>	国庫補助(農水省)	H27-29	【病虫管理技術開発班】	施設野菜(ピーマン、サヤインゲン、ナス)で天敵製剤(スワルスキーカブリダニなど)や温存植物を用いたタバコカスミカメ等の土着天敵導入による害虫防除効果について検証した。ピーマンではスワルスキーカブリダニとタバコカスミカメを併用することで、ミナミキイロアザミウマとタバココナジラミを低密度に抑制できた。サヤインゲンやナスでは試験事例の蓄積が必要であると考えられた。
<p>【2015農004】 沖縄型総合的病害虫・雑草管理技術推進事業 病害虫防除農業環境リスク低減技術確立</p>	国庫補助(農水省)	H27-29	【病虫管理技術開発班】	沖縄における土着天敵タバコカスミカメの誘引時期を検証するため、ゴマをトラップとして本種の誘引推移を調査した。その結果、周年継続的にゴマトラップにタバコカスミカメ成虫が誘引された。また、本種を天敵として利用する際は4-12月までの間にゴマを栽培すれば誘引できることが明らかとなった。
<p>【2014農002】 重要病害虫対応力強化事業 (1)チャノキイロアザミウマの野生寄主</p>	県単	H26-28	【病虫管理技術開発班】	沖縄本島、宮古島、石垣島のマンゴー栽培施設内の雑草16種からチャノキイロアザミウマ成幼虫が発見され、特にキダチコミカンソウが発見頻度と寄生頻度がともに高く、重要な野生寄主であることが示唆された。
<p>【2014農002】 重要病害虫対応力強化事業 (2)チャノキイロアザミウマ各系統の野外における発生消長</p>	県単	H26-28	【病虫管理技術開発班】	チャノキイロアザミウマの野外における各系統の発生消長を明らかにするために、黄色粘着板トラップによる調査を行った。その結果、C系統は夏～秋を中心に発生しているが、YT系統はこれらの時期以外の比較的低温な時期においても発生しており、系統によって発生消長が異なることが示唆された。

試験研究課題	予算区分	研究期間	担当班	平成28年度試験研究成果の概要
【2014農002】 重要病害虫対応力強化事業 沖縄に土着のアザミウマ 捕食性のクダアザミウマ 類	県単	H26-28	【病虫管理技術開発班】	本県での土着天敵利用に向けた基礎データを得る目的で捕食性アザミウマ類をリストアップした。1033植物サンプルのうち、86サンプルから捕食性アザミウマが発見され、シナクダアザミウマが地点数および個体数ともに圧倒的に多かった。
【2014農002】 重要病害虫対応力強化事業 サイインゲンの新たな害虫 アザミウマ	県単	H26-28	【病虫管理技術開発班】	沖縄県糸満市の施設栽培のサイインゲンに新被害が確認され、本被害を引き起こすアザミウマについて、種同定した結果、Megalurothrips usitatus であることを確認し、和名をシロオビハナアザミウマと提案した。
【2014農002】 重要病害虫対応力強化事業 サイインゲンの新たな害虫 アザミウマの薬剤感受性	県単	H26-28	【病虫管理技術開発班】	サイインゲンの新たな害虫シロオビハナアザミウマに対する殺虫効果を調査した。サイインゲンに登録のある5剤で室内において殺虫効果を試験した結果、ネオニコチノイド系2剤とエマメクテン安息香酸塩で高い殺虫活性が認められた。
【2014農002】 重要病害虫対応力強化事業 マンゴーの開花期に発生 する病害同定と薬剤感受性 試験	県単	H26-28	【病虫管理技術開発班】	マンゴーの開花期に発生する新病害として、すす点病(Stomiopeltis類似属)、菌核病(Sclerotinia sclerotiorum)、灰色かび病(Botrytis cinerea)を同定した。さらに、各病原菌の基礎生態ならびにマンゴー登録剤に対する感受性を明らかにした。
【2014農002】 重要病害虫対応力強化事業 ケブカアカチャコガネの伊 良部島における分布	県単	H26-28	【病虫管理技術開発班】	サトウキビ害虫であるケブカアカチャコガネの伊良部島でのトラップ誘殺虫数による分布調査の結果、島南東部の池間添付近で多数捕獲される圃場が集中していた。
【2014農002】 重要病害虫対応力強化事業 X線照射による害虫類の 不妊化技術開発における 可能性調査	県単	H26-28	【病虫管理技術開発班】	X線照射装置を用いてアズキゾウムシの不妊化を試みた結果、線量が高くなるほど次世代数が減少する傾向があった。
【課題番号なし】 マンゴーを加害するシュレ イツメハダニ及びマンゴー ツメハダニの薬剤感受性 試験	受託 (沖縄県植物 防疫協会)	H28	【病虫管理技術開発班】	マンゴーを加害する2種ハダニ(マンゴーシュレイツメハダニ、マンゴーツメハダニ)の薬剤感受性を室内試験にて調査した。その結果、マンゴーで農業登録のあるピリダベン水和剤、テブフェンピラド水和剤、アセキノシル水和剤及び他の果樹類でハダニ類に適用のあるシエノピラフェン水和剤の効果が高いことが明らかとなった。
【2014農021】 シロスジオサゾウムシの 生態と防除に関する研究 ①発酵サトウキビ茎トラッ プによるシロスジオサゾウ ムシの最適誘引期間	県単	H26-31	【病虫管理技術開発班】	発酵さとうきび茎束を用いたトラップ設置後、5日目にトラップ当たり平均シロスジオサゾウムシ成虫数はピークに達し、それ以降は個体数が漸減した。成虫は長期間トラップに留まっていることはなく、短期間で次々と入れ替わっていることが明らかとなった。
【2014農021】 シロスジオサゾウムシの 生態と防除に関する研究 ②シロスジオサゾウムシ 幼虫の薬剤感受性	県単	H26-31	【病虫管理技術開発班】	サトウキビの登録農薬で浸透移行性を有する粒剤(5剤)を用いて、培土時土壌混和処理で本種幼虫に対する殺虫効果を検討した。クロチアニジンの処理7日後では、効果がやや期待できるが、他の剤では、効果が認められなかったため、浸透移行性を有する剤による幼虫防除は難しいと考えられた。
【2014農021】 シロスジオサゾウムシの 生態と防除に関する研究 ③シロスジオサゾウムシ 成虫の薬剤感受性	県単	H26-31	【病虫管理技術開発班】	サトウキビの登録農薬で浸透移行性を有する粒剤(5剤)を用いて、室内試験で本種成虫に対する殺虫効果を評価した。各薬剤とも本種成虫に対する殺虫効果が高かった。また、薬剤間で本種に対する殺虫効果のあらわれる時間が異なった。

試験研究課題	予算区分	研究期間	担当班	平成28年度試験研究成果の概要
【2014農021】 シロスジオサゾウムシの生態と防除に関する研究 ④殺虫剤処理したトラップによるシロスジオサゾウムシの発生モニタリング	県単	H26-31	【病虫管理技術開発班】	カルボスルファン粒剤を処理したさとうきび発酵茎トラップが本種成虫のモニタリングに利用できるか検討した。本トラップの設置7日目以降は平均累積死亡虫数が対照区のトラップ内の生存虫数を上回っていたため、本手法が長期間の発生モニタリングに使用できることを明らかにした。
【2012農018】 イネヨトウの交信かく乱法による防除技術普及事業 新型フェロモンディスペンサーの放出間隔の検討	国庫補助 (内閣府)	H24-30	【病虫管理技術開発班】	自動制御でイネヨトウの合成性フェロモンを放出する新型フェロモンディスペンサーを開発・改良した。使用条件を決めるために、15分間隔における防除効果を検討し、交信かく乱効果を確認出来た。
【2014農017】 加工特性の高い高品質生食用パインアップル品種の開発 パインアップル小果腐敗症抵抗性判別技術の開発および抵抗性品種の判定	受託 (農水省)	H26-30	【病虫管理技術開発班】	小果腐敗症の抵抗性について室内条件下で簡便・迅速に評価する手法として、各品種を用いて爪楊枝接種法の有効性を検証した。名護支所で栽培される9品種・6系統の本病抵抗性について病斑形成率をもとに評価した検定結果が、既知の情報と一致したことから、その有効性が示された。
【2014農015】 特殊病害虫特別防除事業 ナスミバエのトラップ開発 誘引物質の比較	国庫補助 (内閣府)	H26-33	【病虫管理技術開発班】	京都大学で開発されたナスミバエ誘引剤(PおよびEOP)は海外で報告された $\alpha$ イオノール剤に比べ、捕獲数が多かった。
【2014農015】 特殊病害虫特別防除事業 アリモドキゾウムシの新しい密度抑圧防除技術の検討	国庫補助 (内閣府)	H26-33	【病虫管理技術開発班】	不妊虫放飼の開始以前の野生虫の密度抑圧防除の新しい技術として、カンショ圃場において合成性フェロモンを用いた交信かく乱法の有効性を検討した。その結果、交信攪乱により誘引阻害および交尾阻害効果が認められた。
【2015農001】 強風時に施設本体と作物の両方を守る次世代型ネット施設の開発	沖縄県産業振興重点推進事業	H26-30	【農業システム開発班】	3種類のネット①目合い1mm(開口率71%)、②目合い0.6mm(開口率66%)、③目合い0.4mm(開口率62%)を現場に設置し、ネット前後流を観測した結果、風速分布、乱れのエネルギー共に3種類とも異なる傾向を示し、ネット目合いが小さいほど風下側の風速の低下率は大きかった。また、防これら実測値は、数値計算において一定程度再現でき、実用的には問題無い程度の精度が確保できた。
【2015農002】 可視光領域の波長吸収を指標にした晩生マンゴーの非破壊熟度判定技術の開発	県単 (沖縄県産業振興重点研究推進事業)	H27-29	【農業システム開発班】	「ていらら」、「夏小紅」、「キーツ」について、部位別に近赤外分光分析による果肉硬度、糖酸比などの検量線を作成した。果肉硬度と糖酸比、酸度などの一部の部位を除き、相関係数(R)0.9以上の検量線が得られ、熟の進行に伴い変化する理化学的要素を非破壊分析によって推定できる可能性が示唆された。
【2014農004】 原料蔗汁の品質が黒糖の品質に及ぼす影響の解明	受託 (沖縄県黒砂糖協同組合)	H26-28	【農業システム開発班】	クリアジュースと黒糖の還元糖比、クリアジュースの純糖率と黒糖の水分や水分活性、クリアジュースのグルコースやグルタミンと黒糖の着色度に正の相関が見出され、クリアジュースの分析値より黒糖の品質が推定可能であると考えられた。
【2014農006】 節間伸長処理栽培に適したわい性サヤインゲンの品種選定	その他 (園芸拠点産地成長戦略事業)	H26-28	【野菜花き班】	各種苗メーカーが育成したわい性サヤインゲンの節間伸長処理による適応性(節間伸長性、収量性および品質)を「サーベル」と比較検討した結果、収量性が高く、摘葉および収穫作業の省力化が図られる「サクサク王子ネオ」を選定した。
【2015農006】 最適な保存前処理条件と順化処理条件の検討	その他 (ゴーヤー生産力拡大推進事業)	H27-29	【野菜花き班】	ゴーヤー花粉の長期保存技術を開発するため、長期保存に適した花粉の前処理条件と保存後の順化処理条件を、温度と湿度について検討を行った結果、ゴーヤー花粉の長期冷凍保存する場合、保存前に低温かつ低湿度条件で60分間静置後に保存し、保存後は高湿度条件で60分静置すると、花粉の発芽率が高まることが分かった。

試験研究課題	予算区分	研究期間	担当班	平成28年度試験研究成果の概要
【2014農001】 ニガウリうどんこ病耐性検 定手法の開発	県単 (沖縄農業を 先導する育 種基盤技術 開発事業)	H26-30	【野菜花き班】	うどんこ病耐性品種の育成における耐性株選抜の ために効率的かつ均一性の高い信頼性のある耐性 検定手法の確立のため、散粉接種法及び分生子懸 濁液接種法について検討を行った結果、接種法は、 感染強度の強い分生子懸濁液接種法が優れ、懸濁 液は作成当日に用いるのが適当であることが示さ れた。
【2014農001】仏花用途以 外に使用できる新規キク 類の育種素材の育成 育成系統の評価(2014年 度交配)	県単 (沖縄農業を 先導する育 種基盤技術 開発事業)	H26-30	【野菜花き班】	仏花以外の用途に使用できるキク類の育種素材を 育成することを目的として2015年度に農業研究セン ターで実生選抜した150系統を用いて11月、12月、3 月開花作型で育成系統の評価を実施した結果、萌芽 調査、特性調査および圃場観察などから花形がユ ニークで本県栽培環境下に適する、または有用な形 質を持つ等42系統を有用系統として評価した。
【課題番号なし】 島ニンジンの現地栽培実 態調査	その他・わっ た一島ヤサ イ産地力強 化事業	H28	【野菜花き班】	中城村の島ニンジンは橙色系統の栽培者比率が 100%、栽培面積で約70%を占め、基本色の黄色系 統は30%であった。渡名喜村における橙色系統の栽 培農家は1戸のみであった。
【2014農003】 1. 熱帯果樹の沖縄県オリ ジナル品種の育成 1. マンゴーの優良品種の 育成 (3) 交配実生の果実品質 評価	県単	H26-30	【名護支所 果樹班】	マンゴー実生個体119個体(交配組合せ1:76、組合 せ10:16、組合せ12:27)の果実について、果実形質を 評価した結果、20個体がアーウィンと同等以上の品質 と評価され2次選抜に供試する。
【2014農003】 1. 熱帯果樹の沖縄県オリ ジナル品種の育成 2. パッションフルーツの優 良品種の育成 (1) 第1次選抜試験(2015 年度)	県単	H26-30	【名護支所 果樹班】	組合番号10「1-2-14」×「2-4-15」の82個体につい て、開花、収穫および果実特性を調査した結果、自家 和合性で果皮色および食味が良好な6個体を1次選 抜した。
【2014農003】 1. 熱帯果樹の沖縄県オリ ジナル品種の育成 2. パッションフルーツの優 良品種の育成 (2) 第2次選抜試験(2015 年度)	県単	H26-30	【名護支所 果樹班】	2014年度1次選抜の8系統について、開花、収穫お よび果実特性を調査した結果、自家和合性で果皮色 および食味が良好な2系統を選抜した。
【2014農003】 1. 熱帯果樹の沖縄県オリ ジナル品種の育成 3. ピタヤ優良品種の育成 (3) 第1次選抜試験(2015 年度)	県単	H26-30	【名護支所 果樹班】	2013年、2014年に定植した3組合せ107個体のうち 開花・結実が認められた15個体について第1次選抜 試験を行ったが、選抜個体はなかった。
【2014農003】 1. 熱帯果樹の沖縄県オリ ジナル品種の育成 3. ピタヤ優良品種の育成 (4) 第2次選抜試験(2015 年度)	県単	H26-30	【名護支所 果樹班】	2013年の第1次選抜試験にて選抜された4系統を供 試して第2次選抜試験を実施した結果、選抜した個体 はなかった。
【2014農003】 1. 熱帯果樹の沖縄県オリ ジナル品種の育成 3. ピタヤ優良品種の育成 (5) 地域適応性試験 (2015年度)	県単	H26-30	【名護支所 果樹班】	沖縄県育成3系統について、地域適応性試験に供 試した結果、果実重および食味値において標準系統 を上回った。名護1号は良食味で和合性であるため有 望、名護2号は鱗片が枯れ果実外観を損ねる恐れが あること、不和合性で受粉樹との相性もあることから 継続調査、名護3号は草本や果実に病害は少なく、刺 の短さや和合性で栽培性に優れることから、登録希 望と判断した。

試験研究課題	予算区分	研究期間	担当班	平成28年度試験研究成果の概要
【1972農006】 1. 水稻奨励品種決定調査 1) 予備調査	県単 (稲作生産振興事業)	S47-	【名護支所作物園芸班】	評価法に基づいて検討した結果、ふ系241号を本試験へ編入、東北214, 215, 220号、越南256号、西南160号を継続検討、12系統を打ち切りとした。
【1972農006】 1. 水稻奨励品種決定調査 2) 本調査	県単 (稲作生産振興事業)	S47-	【名護支所作物園芸班】	ふ系233号は「ひとめぼれ」と比較して収量はやや低収(一期作)であった。玄米品質は同等で食味官能評価は総合値がやや高い傾向であった。過去のデータも考慮し、データ収集は終了ことから調査打ち切りとした。次年度は予備試験で評価の高かったふ系241号を本試験に編入して試験を行う。
【1972農006】 1. 水稻奨励品種決定調査 3) 現地調査	県単 (稲作生産振興事業)	S47-	【名護支所作物園芸班】	ふ系233号は「ひとめぼれ」と比較して収量はやや低収(一期作)であったが、食味は良食味であった。食味官能評価の値も高い傾向であった。また、耐病性、耐倒伏性についても同等であった。過去のデータも考慮し、データ収集は終了ことから調査打ち切りとした。次年度は予備試験で選ばれた系統を用いて調査を実施する。
【2014農007】 2. 原種多収栽培技術の検討	受託 (沖縄県米穀種子協会)	H26-28	【名護支所作物園芸班】	水稻奨励品種の原種種子は一期作で多収栽培する場合、生育初期から予防的に病害虫防除をおこない、施肥量を12.6Nkg/10a程度とすると400kg/10a以上の健全種子が得られる。
【2014農008】 3. 沖縄県における埼玉育成水稻系統の栽培適応性評価	受託 (沖縄県米穀種子協会)	H26-	【名護支所作物園芸班】	埼玉県で育成された配布系統、34系統について本県への栽培適応性を検討し、沖1, 3, 5, 7が本県に比較的適している可能性のある系統であった。他の系統に関しては有望な系統はないと判断した。
【課題番号なし】 4. 沖縄における難消化米の選抜と栽培適応性評価	受託 (南西地域産業活性化支援センター)	H26-28	【名護支所作物園芸班】	OIST⑤-1の特性は、出穂性、生育形質は「ゆがふもち」に近く、収量性、玄米形質は「アミロモチ」に近い形質を備えていると考えられた。また沖縄での栽培は可能であった。
【2016農002】 高付加価値茶生産技術開発事業 1. 緑茶用品種の紅茶加工適性評価 (1) 収穫期別紅茶品質調	県単	H28-30	【名護支所作物園芸班】	概ね緑茶品種による紅茶は、「べにふうき」に比べ官能評点が低いが、水色評点を改善することにより、高評点を得られる可能性が考えられた。また、滋味の特性は、洗みが少なくマイルドな紅茶になる傾向が得られ、特に「あさつゆ」、「さえみどり」は、うま味が強く感じられた。また、成分分析のより供試した緑茶の生葉中の総カテキン量は「べにふうき」よりも少ないことが明らかとなった。
【2016農002】 高付加価値茶生産技術開発事業 1. 緑茶用品種の紅茶加工適性評価 (2) 収量調査	県単	H28-30	【名護支所作物園芸班】	主要な緑茶品種の収量は、二番茶、三番茶が多く、更新後の三番茶は、一番茶と同程度の収量を得られる。
【2015農007】 宮古地域に適した生食用タマネギの安定生産技術の確立 1) 品種選定 (1) 秋まき栽培に適した品種の選定 ①9月上旬播種	県単	H27-29	【宮古島支所】	9月上旬播種において、「12-401」は商品球率が高く規格内収量は4.3t/10aと多く、収穫期間も「1037」と同等であった。一方「グラネックス2」の商品球収量は高かったが、肥大過剰球が多いため規格内収量が3.6~3.7t/10a、収穫開始は「1037」と比べ3週間程度遅くなった。

試験研究課題	予算区分	研究期間	担当班	平成28年度試験研究成果の概要
<p>【2015農007】 宮古地域に適した生食用タマネギの安定生産技術の確立 1) 品種選定 (1)秋まき栽培に適した品種の選定 ②9月下旬播種</p>	県単	H27-29	【宮古島支所】	9月下旬播種において、「12-401」の44日育苗は商品球率が高く規格内収量も4.5t/10aで、収穫期間も「1037」と同等であった。一方「グラネックス2」の44日育苗も規格内収量が4.1t/10aであったが、抽台は15%発生し、収穫開始は3月下旬とやや遅くなった。
<p>【2015農007】 宮古地域に適した生食用タマネギの安定生産技術の確立 1) 品種選定 (2)セット栽培に適した品種の選定</p>	県単	H27-29	【宮古島支所】	「1037」と比較して商品球収量が同等以上の品種はなかった。供試品種の中で商品球収量が多い「グラネックス2」は収穫開始が1月下旬と遅く、商品球率が多い「12-401」は1球重が小さく、商品球収量が少ない。供試品種の中でセット栽培における「1037」の代替品種となる品種はなかった。
<p>【1972農006】 水稻奨励品種決定基本調査 (予備調査・本調査・現地調査)</p>	県単	S49～	【石垣支所】	予備調査では、玄米収量または食味評価が比較的高い5系統を継続系統とした。中でも「ふ系241号」は収量等で「ひとめぼれ」より優れた形質が確認されたため、本試験へ編入とした。また、本調査では「ふ系233号」は、収量および食味評価は、「ひとめぼれ」より高い傾向であったが、一期作の玄米品質は劣る傾向であった。複数年の調査による形質把握により、「ふ系233号」は打ち切りとした。
<p>【2014農009】 沖縄県における各県育成水稻系統の栽培適応性評価</p>	受託 (米穀種子協会)	H26-28	【石垣支所】	両作期で66集団を供試した結果、全ての集団が「ひとめぼれ」より早生であった。両作期通じて倒伏やいもち病の発生は見られなかった。
<p>【2016農003】 ゲノム育種により有用形質を集積した水稻品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大 1. 水稻品種「スーパーひとめぼれ」栽培技術の確立 (3)「スーパーひとめぼれ」の二期作栽培特性の把握</p>	受託 (岩手県)	H28-H29	【石垣支所】	「スーパーひとめぼれ」は「ひとめぼれ」と比較して出穂期がやや遅く短稈で千粒重が大きい傾向が見られた。一期作の食味評価は「ひとめぼれ」より高かったが、収量性は「ひとめぼれ」と同等で、玄米品質は劣ることが確認された。次年度は不用形質を取り除かれた種子を用いて調査を継続する。
<p>【2016農003】 ゲノム育種により有用形質を集積した水稻品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大 3. 耐塩性品種の実証実験 (2) 潮風害発生地における潮風害抵抗性の確認</p>	受託 (岩手県)	H28-H29	【石垣支所】	「Kajjin」の生育ステージは「ひとめぼれ」と同様に推移し、穂数は「ひとめぼれ」より多く、二期作は「ひとめぼれ」より多収の傾向であった。倒伏程度および食味評価に差は見られなかった。海水噴霧処理(5～15ml/株)による登熟歩合減少率は、「ひとめぼれ」と比較して「Kajjin」が低い値となった。
<p>【課題番号なし】 導入インドナツメの優良品種選抜</p>	県単	H26-28	【石垣支所】	2016年度インドナツメにおいて、糖度12%以上で、かつ販売可能と思われる果実重50g以上の収量の高い品種及び系統は、「石垣」、「蜜ナツメ」、「高雄3号」、「金蜜」であった。



## 研究成果の発表、普及、広報

### I 普及に移した研究成果

班名	成果名
<b>&lt;作物&gt;</b>	
本所 作物班	多収で白色ペースト加工用のカンショ新品種候補系統「沖育09-8-14」
本所 病虫管理技術開発班	イネヨトウの交信かく乱剤の3/4量(3巻/ha)処理時における交信かく乱効果
本所 農業システム開発班	南北大東島におけるサトウキビ収穫・運搬作業の主要類型とその実作業量
名護支所 作物園芸班	紅茶用有望品種「べにほまれ」、「べにひかり」の低温要求性と紅茶特性
宮古島支所	宮古地域におけるサトウキビの春植えおよび株出しの効果的な灌水開始時期
宮古島支所	宮古地域におけるサトウキビ「KY99-176(農林31号)」の夏植え栽培に適する植付け時期
宮古島支所	宮古地域におけるサトウキビ「RK97-14」の夏植え栽培に適する植付け時期
石垣支所	八重山地域の夏植え株出し栽培に適したサトウキビ品種及び収穫・株出し時期
<b>&lt;野菜・花き&gt;</b>	
本所 研究企画班(ハitekG)	ニガウリの全ゲノム解読
本所 土壌環境班	ジャーガルにおける埋設試験による堆肥等有機質資材の形態別窒素量の評価
本所 土壌環境班 病虫管理技術開発班	ニガウリ異常症状の原因究明
本所 病虫管理技術開発班	クロゲハナアザミウマの発育に及ぼす温度の影響
本所 野菜花き班 農業システム開発班	光合成特性から判断するゴーヤーハウス栽培における管理指標
本所 野菜花き班 農業システム開発班	小型で安価な日射計測とその検定装置の開発
本所 野菜花き班	ナーベラー(へちま)の加熱調理後における褐変形質の遺伝様式
本所 野菜花き班	積算温度を指標としたナーベラー(へちま)の効率的採種条件
本所 野菜花き班	ナーベラー(へちま)の育苗期の短日処理による世代促進法
本所 野菜花き班	ナーベラー(へちま)育種におけるクロマルハナバチを利用した受粉作業の省力化
宮古島支所	宮古地域のカボチャ1果どり栽培における施肥体系
石垣支所	ヒハツモドキの挿し木に適した培地
石垣支所	ヒハツモドキの異なる植物部位由来の株間での生育と収量の違い
<b>&lt;果樹&gt;</b>	
本所 研究企画班(ハitekG)	DNAマーカーによるパインアップル白色系と黄色系果肉色の判定技術
本所 研究企画班(ハitekG)	パパイヤとマウンテンパパイヤの雑種個体育成とウイルス抵抗性の評価
本所 病虫管理技術開発班	県内各地のマンゴー栽培施設におけるチャノキイロアザミウマC系統とYT系統の分布
本所 病虫管理技術開発班	マンゴーを加害する2種ハダニに対する各種カブリダニ製剤の捕食能力評価
本所 農業システム開発班	中晩生マンゴー「ていらら」と「夏小紅」における果皮着色程度と果実成熟度の関係
本所 農業システム開発班	乾燥シークワサー果皮をブレンドした水出し紅茶の作成法
名護支所 果樹班	パインアップル「ゴールドバレル」のハウス栽培による高品質果実出荷時期
名護支所 果樹班	マンゴー中晩生品種「リベンス(夏小紅)」の収穫適期
名護支所 果樹班	マンゴー中晩生品種「バレンシアプライド(ていらら)」の収穫適期
石垣支所	アテモヤの人工受粉に好適な開花ステージ
<b>&lt;畜産&gt;</b>	
本所 土壌環境班	乳用牛スラリーのケングラスへの代替肥料としての活用技術

## II 学会・研究会誌への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻号	掲載ページ
K. Tarora, A. Shudo, S. Kawano, K. Yasuda, H. Ueno*, H. Matsumura*, N. Urasaki	Development of plants resistant to Papaya leaf distortion mosaic virus by intergeneric hybridization between <i>Carica papaya</i> and <i>Vasconcellea cundinamaricensis</i>	Breeding Science	Vol. 66 (2016) No. 5	734-741
T. Ogata*, S. Yamanaka*, M. Shoda, N. Urasaki, T. Yamamoto*	Current status of tropical fruit breeding and genetics for three tropical fruit species cultivated in Japan: pineapple, mango, and papaya	Breeding Science	Vol. 66 (2016) No. 1	69-81
太郎良和彦・首藤亜耶乃・仲村渠稔・照屋和則・浦崎直也	遺伝子組換えパパイヤ品種「レインボー」後代のパパイヤ奇形葉モザイクウイルス(PLDMV)の抵抗性評価	沖縄県農業研究センター研究報告	11 (2017)	1-5
出花幸之介・島袋正樹*	サトウキビにおける甘蔗糖度、純糖率、還元糖濃度の地域間、年次間、収穫時期の変動 — 沖縄県内における「逆転生産プロセス」の適応性について — 2016.8	沖縄の農業と経済	第5号	75-81
Ganaha-Kikumura T, Kijima	Effects of temperature on the development and fecundity of <i>Thrips nigropilosus</i> (Thysanoptera: Thripidae) on <i>Chrysanthemum morifolium</i> (Asterales: Asteraceae)	Applied Entomology and Zoology	51	623-629
Matsuo K*, Ganaha-Kikumura T, Ohno S*, Yukawa J*	Description of a new species of <i>Aphanogmus</i> Thomson (Hymenoptera, Ceraphronidae) that parasitizes acarivorous gall midges of <i>Feltiella</i> (Diptera, Cecidomyiidae) in Japan	ZooKeys	596	77-85
山内 智*・喜久村智子・湯川淳一*	青森県で発見された虫えい。	青森自然誌研究	21	1-25
Uechi N*, Yukawa J*, Tokuda M*, Maryana N*, Ganaha-Kikumura T, Kim W*	Description of the Asian chili pod gall midge, <i>Asphondylia capsicicola</i> sp. n., with comparative notes on <i>Asphondylia gennadii</i> (Diptera: Cecidomyiidae) that induces the same sort of pod gall on the same host plant species in the Mediterranean region	Applied Entomology and Zoology	52	113-123
Norio Arakaki, Keiji Yasuda*, Shoko Kanayama*, Sakiko Jitsuno*, Masahiro Ooike*, Sadao Wakamura*	Attraction of males of the cupreous plished chafer <i>Protaetia pryeri pryeri</i> (Scarabaeidae) for pollination by epiphytic orchid <i>Luisia teres</i> (Asparagales: Orchidaceae)	Applied Entomology and Zoology	52	159-164
N. Fujiwara-Tsujii*, H. Yasui*, S. Wakamura*, A. Nagayama*, N. Arakaki	Male white grub beetles prefer the pheromone composition of young females in the field	Bulletin of Entomological Research	106	679-684
N. Arakaki, A. Nagayama*, K. Kijima*, H. Yasui*, N. Tsujii*, S. Tanaka*, M. Ueda, S. Kanayama*, S. Jitsuno*, M. Oike*, K. Watanabe*, S. Wakamura*, F. Mochizuki*, R. Saguchi*, T. Fujii*, T. Naito*	Ground-surface application of pheromones through a mini-dispenser for mating disruption of the white grub beetle <i>Dasylepida ishigakiensis</i> (Coleoptera: Scarabaeidae)	Applied Entomology and Zoology	52	159-164

執筆者	論文名	掲載誌名	巻号	掲載ページ
大城篤・比屋根真一・高江洲賢文・比嘉明美・内藤孝・仲村伸次・宮里政郎・仲里富雄	石灰窒素の土壌混和がヒイラギヤブガラシの根断片に与える影響	沖縄県農業研究センター報告	11	21-23
広瀬直人・前田剛希・恩田聡・正田守幸・宮城一菜*・和田浩二*・太田英明*	シークワシャー搾汁残渣を原料とした抽出酢の開発	日本食品科学工学会誌	64	81-89
広瀬直人・照屋亮・三枝隆裕*・和田浩二*	黒麹菌を用いた固体発酵によるサトウキビエキスの開発	沖縄農業研究会誌	48	27-34
Y. Asikin*, A. Tomimura*, Y. Yamakawa*, G. Maeda, N. Hirose, H. Oku* and K. Wada*	Extraction method influenced physical, aroma, and antioxidant profiles of Shiikuwasha ( <i>Citrus depressa</i> Hayata) pulp essential oil	Acta Horticulturae	1135	61-72
M. Takahashi*, M. Ishmael*, Y. Asikin*, N. Hirose, M. Mizu*, T. Shikanai*, H. Tamaki* and K. Wada*	Composition, taste, aroma, and antioxidant activity of solidified non-centrifugal brown sugars prepared from whole stalk and separated pith of sugarcane ( <i>Saccharum officinarum</i> L.)	Journal of Food Science	81	C2647-C2655
M.Tamaki; M. Hirata ; N. Taniai ; M. Tamaki ; T. Akachi ; U. Takae ; H. Sunagawa ; H. Inoue ; A. Kaiho ; S. Tamaki	Daily CO2 changes monitored by an environment sensor unit in a greenhouse with bitter melon	The Journal of Applied Science and Computer Science Publications	ICIIBM S 2015	109-112
赤地徹・吉原徹*・前田建二郎*・玉城磨・宮平守邦・正田守幸・安仁屋政竜*・亀山健太*・井上英二*	沖縄県南北大東島におけるサトウキビの収穫・運搬作業体系のダウンサイジングに関する研究 - 現行のサトウキビ収穫・運搬作業の類型化と実作業量の推定 -	農作業研究	52(1)	5-14
澤岷哲也	異なる温度条件下における罹病枯死葉上のマンゴー炭疽病菌 <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> の生存期間	九州病害虫研究会報	61	16-19
澤岷哲也	ストロビルリン系薬剤耐性マンゴー炭疽病菌 <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> の発生	植物防疫	69	35-38
T. Kanao*, M. Maruyama* and S. Ohno	Redescriptions and distributions of acarivorous rove beetles, <i>Holobus kashmiricus</i> <i>beneficus</i> and <i>H.yasumatsui</i> (Coleoptera: Staphylinidae: Aleocharinae), in Japan and Taiwan	Applied Entomology and Zoology	51	275-287
大野豪・根本明子・宮里進・東嘉弥真勇人・宮城徳道・山城信哉・玉城盛俊	沖縄県におけるヒハツモドキの地理的分布と生育環境の特徴、ならびに害虫等による本種の被害・障害に関する予備的知見	熱帯農業研究	9	1-11
K. Matsuo*, T. Ganaha-Kikumura, S. Ohno and J. Yukawa*	Description of a new species of <i>Aphanogmus</i> Thomson (Hymenoptera, Ceraphronidae) that parasitizes acarivorous gall midges of <i>Feltiella</i> (Diptera, Cecidomyiidae) in Japan	Zookeys	596	77-85

(注)\*印は当研究センター外の共同研究者

### Ⅲ 学会・研究会講演発表

発表者	発表テーマ	学会・研究会名	発表年月
太郎良 和彦・河野 伸二・安田 慶次*・玉城 盛俊・松村 英生*・浦崎 直也	属間雑種(パパイヤ×マウンテンパパイヤ)の戻し交雑個体におけるパパイヤ奇形葉モザイクウイルス抵抗性評価	日本育種学会 第131回講演会	H29.3
浦崎直也・松村まさと・澤岷哲也・太郎良和彦・正田守幸・玉城聡*	パッションフルーツの自家(不)和合性特異的なRAD 由来マーカー	園芸学会平成29年度春季大会	H29.3
棚原尚哉・玉城盛俊・太郎良和彦・浦崎直也	ヘチマの加熱調理後果肉色に特異的なRAD 由来マーカー	園芸学会平成28年度秋季大会	H28.9
謝花治・大見のり子・翁長彰子*・與儀喜代政・宮丸直子・出花幸之介	多収で白色ペーストに向くカンショ新品種候補系統「沖育09-8-14」の特性	平成28年度作物学会九州支部・九農研作物部会の合同講演会	H28.9
伊禮信	沖縄育成系統の集団的な推移と根本からの改善に向けた取り組み	日本甘蔗糖技術者会議第10回講演会	H28.10
仲宗根弘晃	地域に適した品種の育成と活用による生産性の向上	平成28年度さとうきび・甘蔗糖関係検討会	H28.11
出花幸之介	南西諸島におけるさとうきびの長期連作と収量の漸減	2016年度 沖縄農業経済学会研究大会 資料集55-64	H28.11
出花幸之介・比屋根真一・比嘉正徳・金城榮毅・大城卓也	サトウキビの発芽改善に関する研究 サトウキビ黒腐れ病抵抗性の検定法の開発(その1)	第43回サトウキビ試験研究成績発表会講演要旨 17-18	H28.9
我那覇啓・崎間浩・比嘉明美	乾式燃焼法による炭酸塩を含む土壌中の有機炭素の測定法	沖縄農業研究会第55回大会	H28.8
田中洋貴・比嘉明美・親川司・平良慧・吉永安俊*・湧川哲雄*・宮里裕也*・北川巖*	豪雨に対応するためのほ場排水・保水機能活用手法の開発について	平成28年度農業土木技術に関する講演会(一般社団法人沖縄県測量建設コンサルタンツ協会)	H28.10
守屋伸生・與那嶺要*・渡久山みき*・嘉手苺佳太*・宮城早苗*・下地聡子*・島袋真紀子*・長堂嘉孝*・喜久村智子・貴島圭介*・上里卓己・桃下光敏*	沖縄県のマンゴー栽培におけるスワルスキーカブリダニの利用の現状と今後の課題	第26回天敵利用研究会	H28.6
守屋伸生・喜久村智子・上里卓己・貴島圭介*	マンゴー施設内におけるチャノキイロアザミウマ Scirtothrips dorsalis C系統とYT系統の発生消長及び施設内雑草への寄生性の比較	第61回日本応用動物昆虫学会大会	H29.3
喜久村智子・上里卓己・宮城徳道*・守屋伸生	沖縄県における新たなマメ科作物の害虫Megalurothrips usitatus (アザミウマ目:アザミウマ科)の発生状況と薬剤感受性	第61回日本応用動物昆虫学会大会	H29.3

発表者	発表テーマ	学会・研究会名	発表年月
上里卓己・貴島圭介*・喜久村智子・守屋伸生	沖縄県におけるゴマを利用したタバコカスミカメの誘引時期の検証	第61回日本応用動物昆虫学会大会	H29.3
原口大	不妊虫放飼法にX線照射は利用可能か～ナスミバエ不妊化の検討～	第92回九州病害虫研究発表会	H28.11
本間淳*・松山隆志*・原口大	侵入警戒トラップによる誘殺データを用いて不妊虫放飼を適正管理する方法	第61回日本応用動物昆虫学会	H29.3
安次富厚・澤岷哲也・新崎千江美*・大城篤・山城麻希	マンゴー晩生品種‘リペンス(夏小紅)’に発生する果実軸腐症状の病原菌同定および薬剤感受性	沖縄農業研究会第55回大会	H28.8
安次富厚・澤岷哲也・佐藤豊三*・大城篤・山城麻希	Stomiopeltis類似属の1種によるマンゴーすす点病(新称)	日本植物病理学会関東部会	H28.9
安次富厚・澤岷哲也・大城篤・山城麻希・佐藤豊三*	マンゴー炭疽病を引き起こすColletotrichum gloeosporioides種複合体の再同定	日本植物病理学会九州部会	H28.11
安次富厚・大城篤・山城麻希	殺虫剤と殺菌剤の交互散布によるマンゴー果実病害の防除	九州病害虫研究発表会	H29.2
安次富厚・大城篤・山城麻希	マンゴー果実病害に対する殺虫剤と殺菌剤を組み合わせた体系散布による発病抑制効果	日本農業学会第42回大会	H29.3
安次富厚・大城篤・山城麻希	キク青枯病菌の自然宿主となりえるテリミノイヌホオズキとヒメムカシヨモギ	日本雑草学会第56回大会	H29.3
安次富厚・大城篤・山城麻希	Sclerotinia sclerotiorumによるマンゴー菌核病(新称)	日本植物病理学会大会	H29.3
會澤雅夫*・安次富厚・大城篤・山口綾子*・瀧川雄一*	Dickeya sp. によるサトウキビ芯腐細菌病(新称)	日本植物病理学会大会	H29.3
瀧川雄一*・岡かこ*・川村和生*・丸山美咲*・會澤雅夫*・安次富厚・大城篤・山口綾子*・久保田菜夏*	サトウキビ芯腐細菌病より分離されるDickeya属菌の性状と同定	日本植物病理学会大会	H29.3
大城篤・安次富厚・山城麻希	オクラ苗立枯性病害に対するキャプタン水和剤と垂リン酸肥料の併用処理の効果	日本植物病理学会九州部会	H28.11
山城麻希・新崎千江美*・大城篤・安次富厚・竹内誠人・諸見里知絵	パインアップル小果腐敗病抵抗性判別技術の開発	沖縄農業研究会第55回大会	H28.8

発表者	発表テーマ	学会・研究会名	発表年月
山城麻希・新崎千江美*・大城篤・安次富厚・竹内誠人・諸見里知絵	パインアップル小果腐敗病抵抗性判別技術の開発	日本植物病理学会九州部会	H28.11
山城麻希・大城篤・安次富厚・竹内誠人・諸見里知絵	パインアップル小果腐敗病に対する有効薬剤の選抜と防除効果(第2報)	日本植物病理学会大会	H29.3
嘉数若子・新垣則雄・貴島圭介・守屋伸生・永山敦士・内藤尚之*・安居拓恵*・辻井直*・若村定男*	ケブカアカチャコガネの10倍放出製剤における交信かく乱効果	第61回日本応用動物昆虫学会大会	H29.3
玉城磨・臼井高江・砂川春樹・谷合直樹・平田雅輝・高倉直	安価で高精度なハウス内の環境計測機器の開発	沖縄農業研究会生産技術セミナー「先進ICT/エネルギー技術による沖縄農業の高度化」	H28.7
広瀬直人・前田剛希・棚原尚哉・恩田聡	沖縄産ヘチマにおける収穫後の呼吸量変化と呼吸特性	日本食品保蔵科学会第65回大会	H28.6
折田綾音*・船越淳子*・山本久美*・武曾歩*・広瀬直人・寺原典彦*・太田英明*	有色豆類の抗酸化性～フェノール性成分に着目して～	日本食品保蔵科学会第65回大会	H28.6
玉城磨・宮城健次*	ネットハウス内の作物を台風から守るネット二重カーテンの開発	沖縄農業研究会	H28.8
玉城磨・臼井高江・荷川取佑記・高倉直	土壌内CO2濃度とフラックスの計測装置開発と測定	農業施設学会	H28.8
松村まさと・島尻庸平・玉城聡・前田剛希・広瀬直人・安次富由乃・尾上佑子	中晩生マンゴー「ていらら」と「夏小紅」の収穫適期	沖縄農業研究会第55回大会	H28.8
広瀬直人・前田剛希・恩田聡・玉城聡・和田浩二*・太田英明*	マンゴー果実の追熟程度や加熱殺菌条件がマンゴーペーストの品質に及ぼす影響	日本食品科学工学会第63回大会	H28.8
折田綾音*・船越淳子*・武曾歩*・山本久美*・広瀬直人・庄司俊彦*・太田英明*	豆類のフェノール性成分に着目した抗酸化活性の評価	日本食品科学工学会第63回大会	H28.8
砂川春樹*・広瀬直人・阿久津雅子*・高江洲賢文	沖縄県産ニシヨモギ(フーチバー)における香り成分の季節変化	日本植物学会第80回大会	H28.9
栄野比美德・首藤亜耶乃・恩田聡	ホームユーステストを用いた黒糖ニーズの分析による消費拡大の方向性	第79回九州農業研究発表会	H28.9
首藤亜耶乃・栄野比美德・恩田聡	沖縄本島北部地域のさとうきび栽培における問題点の抽出	第79回九州農業研究発表会	H28.9

発表者	発表テーマ	学会・研究会名	発表年月
栄野比 美德・鈴木隆一*・首藤 亜耶乃・恩田 聡	味覚センサーを用いた黒糖と上白糖の料理比較による味の検証	2016年度実践総合農学会	H28.11
首藤亜耶乃・松田周一*・渡久地真維*・栄野比美德・金城章*・恩田聡	本島北部地区のさとうきび栽培における問題点の抽出と効果的な施策の提案	2016年度沖縄農業経済学会	H28.11
広瀬直人・前田剛希・恩田聡・棚原尚哉・高江洲賢文・玉城盛俊・関塚史朗	主要な島ヤサイの呼吸特性と鮮度保持	平成28年度沖縄県農業研究センター成果発表会	H28.11
栄野比美德・鈴木隆一*・川原博基*・首藤亜耶乃・恩田聡	消費者ニーズと味覚センサーからみた沖縄県産黒糖の消費拡大の方向性	平成28年度南方資源利用技術研究会発表会	H28.11
金城由希子*・高橋誠*・広瀬直人・前田剛希・渡辺剛*・和田浩二*	黒糖摂取がストレスに及ぼす影響	平成28年度南方資源利用技術研究会発表会	H28.11
松添琢郎*・永田純一*・前田剛希	ヒト好塩基球細胞株KU812における島ヤサイメタノール抽出物のヒスタミン遊離に及ぼす影響	平成28年度日本食品科学工学会西日本支部大会	H28.11
N. Hirose	Development of the small scale manufacturing method for Kokuto (non-centrifuged cane sugar)	Seminar on introduction of researches in Okinawa, Shinko Sugar Mill, and researches of JIRCAS (Khon Kaen Field Crops Research Center, Thailand)	H28.12
赤地徹・吉原徹*・前田建二郎*・亀山健太*・安仁屋政竜*	GPSデータを基にした沖縄県南北大東島の収穫機・運搬トラックの挙動解析	日本農作業学会2017年春季大会	H29.3
棚原尚哉・渡慶次美歌・伊是名純二・玉城盛俊	ヘチマの短日処理と効率的な採種方法を組み合わせた世代促進技術	沖縄農業研究会第55回大会	H28.8
高江洲賢文・玉城盛俊・砂川春樹*・城間清*	特定産地で生育する沖縄県の伝統的農作物	沖縄農業研究会第55回大会	H28.8
棚原尚哉・玉城盛俊	ヘチマの促成栽培におけるクロマルハナバチの受粉効果	園芸学会平成28年度秋季大会	H28.9
棚原尚哉・玉城盛俊・太郎良和彦・浦崎直也	ヘチマの加熱調理後果肉色に特異的なRAD由来マーカー	園芸学会平成28年度秋季大会	H28.9
谷合直樹・平田雅輝	低温がニガウリの受精能力に及ぼす影響	園芸学会平成28年度秋季大会	H28.9

発表者	発表テーマ	学会・研究会名	発表年月
砂川春樹*・谷合直樹・高倉直	レタス類における生育および形態に及ぼすEOD-FR処理効果	園芸学会平成28年度秋季大会	H28.9
砂川春樹*・広瀬直人・阿久津雅子*・高江洲賢文	沖縄県産ニシヨモギ(フーチバー)における香気成分の季節変化	日本植物学会第80回大会	H28.9
高江洲賢文・玉城盛俊・砂川春樹*	絶滅の危機に直面する沖縄の在来作物	日本熱帯農業学会第120回講演会	H28.10
棚原尚哉・玉城盛俊	矮性サヤインゲン‘サクサク王子ネオ’のジベレリン処理が収量に及ぼす影響	園芸学会平成29年度春季大会	H29.3
山城梢・後藤健志・内藤孝	紅茶の消費者選好と品種別官能イメージからみた沖縄県産紅茶消費の展開・定着に向けた一考察	日本茶業学会研究発表会	H28.10
後藤健志・平松紀士・山城梢・内藤孝・島袋正明・棚原憲正	沖縄県に適した紅茶用有望品種「べにほまれ」と「べにひかり」の低温要求性と紅茶特性	沖縄農業研究会第55回大会	H28.8
砂川喜信・比屋根真一・伊禮信・大見のりこ	日伸長速度から見たサトウキビの効果的な灌水時期	沖縄農業研究会第55回大会	H28.8
伊礼彩夏・與座一文・伊地良太郎	宮古島の生食用パインアップル栽培において高品質果実が得られる花芽誘導処理時期	沖縄農業研究会第55回大会	H28.8
比嘉基晶・宮城徳道・下地浩之	宮古地域で栽培されているササゲの系統について	沖縄農業研究会第55回大会	H28.8
砂川喜信	日伸長速度から見たサトウキビの効果的な灌水時期	平成28年度作物学会九州支部・九農研作物部会 合同講演会	H28.9.8
砂川喜信	サトウキビにおける茎伸長速度と気温・生育ステージの関係	日本甘蔗糖技術者会議(JSSCT)第11回講演会	H28.10.7
仲村昌剛・竹内誠人	八重山地域における「ゴールドバレル」の果皮色および果実重と果実品質との関係性について	沖縄農業研究会第55回大会	H28.8
大見のり子・親富祖明・大工政信・横目久夫・喜友名栄輝	石垣島のサトウキビ生産に影響を及ぼした気象要因の検討	第43回サトウキビ試験成績発表会	H28.10

(注)\*印は当研究センター外の共同研究者



#### IV 雑誌等への投稿

執筆者	課題名	雑誌名	巻号	発行年月
N. Urasaki, H. Takagi*, S. Natsume*, A. Uemura*, N. Taniai, N. Miyagi*, M. Fukushima*, S. Suzuki*, K. Tarora, M. Tamaki, M. Sakamoto*, R. Terauchi*, H. Matsumura*	Draft genome sequence of bitter melon ( <i>Momordica charantia</i> ), a vegetable and medicinal plant in tropical and subtropical regions	DNA Research	24 (1): 51-58	H29.1
Tomoyuki Oki * and Osamu Jahana	Anthocyanin Composition and Content in Purple-Fleshed Sweet Potato Cultivar Churakoibeni	Sweetpotato Research Front	No32	H29.2
出花幸之介	現実的で費用対効果の高いサトウキビへの灌水を実現するために（第42回シンポジウムのとりまとめ）	第43回サトウキビ試験研究成績発表会講演要旨	付録1-43	H28.8
出花幸之介・與那覇至*・加藤雅明*	サトウキビわい化病と種苗対策 2016.12	植物防疫	Vol70.12-16	H28.12
玉城磨	面倒な手作業と臭いから開放 ラッキョウ皮剥き器	現代農業	9月号	H28.9
広瀬直人・前田剛希・宮城一菜*・和田浩二*・太田英明*	沖縄在来柑橘シークワサーの搾汁残渣を原料としたノビレチン含有抽出酢の開発	果汁協会報	703(3)	H29.3
赤地 徹・前田建二郎*・新城健浩*	タイ王国のサトウキビ作機械化と導入が進む中型収穫機	砂糖類・でん粉情報	2016年12月号	H28.11
谷合直樹	ニガウリ促成栽培環境下におけるCO <sub>2</sub> 局所施用の効果	農業電化	2016別冊特集号	H28.12

(注) \*印は当研究センター外の共同研究者

V 行政・普及への資料提供

執筆者	資料名	発行所	発行年月
なし			

VI 受賞関係

受賞者	受賞名	受賞内容	年月日
なし			

VII 刊行物

刊行物名	部数	発行年月	担当班
さとうきび試験成績概要集	200	H28.8	作物班及び沖縄蔗作研究協会
平成27年度試験成績概要書	50	H29.3	宮古島支所

VIII 奨励品種の改廃

作物名	品種名	年月日	備考
サトウキビ	RK97-14	平成28年8月24日	沖縄県奨励品種決定および品種登録出願受理
カンショ	沖育09-8-14	平成28年8月24日	品種登録出願受理

IX 奨励品種の現況及び原原種(苗)ほ場設置状況

作物名	品種名	設置面積	生産量	配布量	備考
カンショ	ちゅら恋紅	0.6 a	2,000 本	1,560 本	特産農作物産地育成事業
カンショ	沖夢紫	0.6 a	2,000 本	1,485 本	特産農作物産地育成事業
カンショ	備瀬	0.4 a	1,500 本	750 本	特産農作物産地育成事業
カンショ	ちゅらまる	0.4 a	1,500 本	780 本	特産農作物産地育成事業
水稻・原種	ひとめぼれ	1,600 m <sup>2</sup>	280 kg	240 kg	名護支所作物園芸班
水稻・原種	ちゅらひかり	340 m <sup>2</sup>	60 kg	40 kg	名護支所作物園芸班
水稻・原種	ミルクィーサマー	340 m <sup>2</sup>	60 kg	40 kg	名護支所作物園芸班
水稻・原種	ゆがふもち	250 m <sup>2</sup>	30 kg	20 kg	名護支所作物園芸班
水稻・原原種	ひとめぼれ	20 m <sup>2</sup>	5 kg	0 kg	名護支所作物園芸班
水稻・原原種	ちゅらひかり	10 m <sup>2</sup>	2 kg	0 kg	名護支所作物園芸班
水稻・原原種	ミルクィーサマー	10 m <sup>2</sup>	2 kg	0 kg	名護支所作物園芸班
水稻・原原種	ゆがふもち	10 m <sup>2</sup>	2 kg	0 kg	名護支所作物園芸班
水稻・原種	ゆがふもち	510 m <sup>2</sup>	69 kg	69 kg	石垣支所
カンショ	沖夢紫	100 m <sup>2</sup>	1,840 本	1,840 本	石垣支所
"	備瀬	50 m <sup>2</sup>	470 本	470 本	石垣支所
"	おきひかり	20 m <sup>2</sup>	190 本	190 本	石垣支所
"	ちゅらまる	50 m <sup>2</sup>	560 本	560 本	石垣支所
"	名護まさり	5 m <sup>2</sup>	125 本	125 本	石垣支所
"	ちゅら恋紅	30 m <sup>2</sup>	350 本	350 本	石垣支所

## X 職務発明

班名	発明の名称	発明者	備考(特許出願等)
農業システム開発班	農業用ハウスの天窓開閉機構	玉城磨・宮城健次※	2016-175908

## XI 講習会・研修会

年月日	担当者	内容	場所	受講人数
H28.6.8	比屋根真一	雑草対策および灌水の効果	与那国町	50
H28.6.10	比屋根真一・下地格	サトウキビ課題解決研修	作物班	20
H28.6.14	下地格	作物班・ミニ講習会(トラクタ類)	作物班	10
H28.6.29	比屋根真一	雑草対策および灌水の効果	竹富町・小浜島	50
H28.6.30	比屋根真一	雑草対策および栽培の基本技術	沖縄本島中部	100
H28.7.11	比屋根真一	雑草対策および灌水の効果	北大東村	50
H28.7.11	谷合直樹	米須老人クラブかりゆし講演会	糸満市	100
H28.7.15	玉城磨	施設園芸に係る「台風対策」講習会	名護市	80
H28.7.20	比屋根真一	雑草対策および灌水の効果	沖縄本島南部	100
H28.7.30	比屋根真一	栽培の基本技術	宜野座村	50
H28.8.8	謝花治	沖縄県のかんしょ品種について	八重瀬町	15
H28.8.9-10	比嘉明美・崎間浩・我那覇啓	農業改良普及指導員土壌肥料基礎研修	沖縄県農業研究センター	10
H28.8.23	高江洲賢文	ジャガイモの土作り・作付けおよび栽培管理講習会	うるま市	50
H28.8.23	広瀬直人	平成28年度沖縄黒糖品質及び安全性向上研修会	那覇市	50
H28.9.9	比屋根真一	栽培の基本技術および灌水の効果	石垣市	100
H28.9.9	高江洲賢文	島野菜講演会	大宜味村	150
H28.9.28	謝花治	カンショ担当の普及指導員新任者研修	八重瀬町	20
H28.9.20	棚原尚哉	インゲン栽培講習会	JA南部地区営農センター	50
H28.9.30	広瀬直人・前田剛希	平成28年度琉球大学公開講座	琉球大学	30
H28.10.20-21	比嘉明美・崎間浩・田中浩貴・我那覇啓・親川司	平成28年度土壌炭素調査法検討会	糸満市、那覇市	80
H28.11.4	田部井大介	北部農林高校生糶摺、精米研修	名護市	40
H28.11.21	伊禮信	さとうきびの品種開発と効果的な活用	那覇市(黒工会)	100
H28.11.21	崎間浩、我那覇啓	環境保全型農業講義	農業大学校	32
H28.11.30	伊禮信	さとうきびの品種開発と効果的な活用	八重瀬町(南部きび協)	100
H28.12.17	後藤健志、山城梢	沖縄の紅茶の紹介	県営中城公園	18
H28.12.20	謝花治	カンショ担当の普及指導員新任者研修	八重瀬町	20
H28.12.20	宮丸直子	カンショ普及員課題解決研修	石垣市	40
H29.1.18	與儀 喜代政	アセローラ栽培講習会	田空の駅 はーそー	10
H29.1.28	大城和久	羽地水稲部会講習会	名護市	20
H29.2.12	後藤健志、山城梢	沖縄の紅茶の紹介	県営名護城公園	20
H29.2.18	玉城磨	八丈の園芸振興と自然災害対策	八丈町	30

年月日	担当者	内容	場所	受講人数
H28.5.11	砂川喜信	サトウキビ肥培管理講習会(羽地生産組合)	名護市	100
H28.5.16	伊礼彩夏	マンゴー栽培講習会	宮古島市上野	50
H28.6.1	砂川喜信	サトウキビ栽培講習会(石垣市)	石垣市	100
H28.7.12	砂川喜信	サトウキビ栽培講習会(平良)	宮古島市平良	40
H28.7.14	砂川喜信	サトウキビ栽培講習会(下地)	宮古島市下地	40
H28.7.20	砂川喜信	サトウキビ栽培講習会(城辺)	宮古島市城辺	70
H28.7.21	砂川喜信	サトウキビ栽培講習会(上野)	宮古島市上野	40
H28.8.1	知念康太	カボチャ栽培講習会(伊良部)	宮古島市伊良部	25
H28.8.2	知念康太	カボチャ栽培講習会(平良)	宮古島市平良	15
H28.8.3	知念康太	カボチャ栽培講習会(城辺)	宮古島市平良	20
H28.8.4	知念康太	カボチャ栽培講習会(下地)	宮古島市下地	12
H28.8.5	砂川喜信	サトウキビ栽培講習会(伊良部)	宮古島市伊良部	40
H28.8.8	砂川喜信	サトウキビ栽培講習会(多良間)	多良間村	30
H28.8.10	知念康太	タマネギ栽培講習会	宮古島市平良	15
H28.8.19	小林拓也・荷川取佑記	サトウキビ栽培講習会	宮古島市上野	20
H28.8.19	伊礼彩夏	マンゴー栽培講習会	宮古島市平良	60
H28.9.2	比嘉基晶	ゴーヤー栽培講習会	宮古島市平良	50
H28.11.9	比嘉基晶	トウガン栽培講習会	宮古島市平良	20
H28.11.16	砂川喜信	サトウキビ栽培講習会	伊是名村	50
H28.11.21	小林拓也	黒糖関係農務研修会	石垣市	50
H28.12.13	伊礼彩夏	マンゴー栽培講習会	宮古島市平良	70
H28.12.16	比嘉基晶	ゴーヤー栽培講習会	宮古島市平良	60
H29.1.31	比嘉基晶	就農ステップアップ講座(サヤインゲン)	宮古島市平良	13
H29.2.10	知念康太	オクラ栽培講習会	宮古島市平良	37
H28.7.19	仲宗根琢洋	水稻栽培講習会	竹富町(西表島)	8
H28.7.25	親富祖明・大見のり子	サトウキビ植付懇談会	竹富町(西表島)	40
H28.10.25	仲村昌剛	パインアップル(ゴールドパレル)栽培講習会	竹富町(西表島)	20
H28.11.21	大見のり子	黒砂糖工業会講習会	石垣市(JAおきなわ八重山支店)	30
H28.11.30	加藤智子	新しいマンゴー ていらら&夏小紅～積算温度を用いた収穫時期の検討～(八重山地域農林水産業成果・事例発表会)	八重山農林水産振興センター合同庁舎	81
H28.12.8	大見のり子	石垣島のサトウキビ生産に影響を及ぼした気象要因について(H28年度気候講演会)	八重山農林水産振興センター合同庁舎	50
H29.3.2	加藤智子	マンゴー講習会	沖縄県農業研究センター石垣市(支所)	25

XII 見学・視察対応

日程	団体名	人数(人)	対応班
H28.4.15	沖縄県立南部農林高等学校食料生産課	40	作物班、野菜・花き班
H28.4.26	沖縄県立中部農林高等学校	12	作物班、病虫管理技術開発班
H28.4.28	西原町議会(建設産業常任委員会)	13	野菜・花き班
H28.5.27	JAおきなわ具志頭支店野菜生産部会	20	病害虫管理技術開発班
H28.5.31	JAおきなわ具志頭支店いも生産部会	25	作物班
H28.6.2	宮古島市城辺下北土地改良区	15	作物班、野菜・花き班
H28.6.7	沖縄県立南部農林高等学校食料生産課	6	土壌環境班
H28.7.12	ウエカツ水産(株)	4	野菜・花き班
H28.7.12	今帰仁村渡喜仁野菜生産組合	17	野菜・花き班
H28.7.15	沖縄県立農業大学校	24	土壌環境班
H28.8.9	中城村役場農林水産課	15	野菜・花き班
H28.8.25	沖縄県立南部農林高等学校	3	研究企画班
H28.8.30	JAおきなわ玉城支店野菜生産部会	70	野菜・花き班
H28.9.6	那覇市安次嶺農業改良組合	25	全般
H28.9.15	恩納村地域農業振興連絡協議会	20	野菜・花き班、作物班
H28.9.26	沖縄県企画部科学技術振興課(～30日まで)	1	研究企画班
H28.10.4	名護市久志地区さとうきび生産組合	20	作物班
H28.10.6	ジェイカムアグリ株式会社	3	土壌環境班
H28.10.24	中華民国行政院農業委員会花蓮区農業改良場(～25日まで)	1	研究企画班、病虫管理技術開発班、作物班、野菜・花き班
H28.10.25	美唄市内三農協青年部連絡協議会	10	野菜・花き班
H28.11.1	JAおきなわコザ支店園芸愛好会	24	野菜・花き班
H28.11.2	宜野座村農業後継者育成センター	8	野菜・花き班
H28.11.10	糸満市武富ハイツ地域デイスサービス「未来会」	20	野菜・花き班
H28.11.15	青森県上北郡六戸町議会	14	病害虫管理技術開発班、野菜・花き班
H28.11.16	沖縄県女性農業委員協議会(事務局:沖縄県農業会議)	24	野菜・花き班
H28.11.21	JAおきなわ北部営農センター	4	野菜・花き班
H28.11.22	うるま市石川さとうきび生産組合	60	作物班
H28.11.28	中部地区さとうきび研究会	10	作物班
H28.11.28	韓国農村振興庁国立園芸特作学院施設園芸研究所	4	研究企画班、野菜・花き班
H28.11.29	沖縄県北部農林水産振興センター農業改良普及課	3	作物班
H28.12.1	鏡水自治会農業改良組合	20	野菜・花き班
H28.12.1	糸満市適応指導教室「とびうお教室」	7	作物班
H28.12.9	沖縄県農業信用基金協会	10	野菜・花き班、作物班
H28.12.14	宜野座村漢那園芸組合	20	野菜・花き班
H28.12.20	沖縄県糖業振興協会	5	作物班
H29.1.10	日本甜菜製糖(株)芽室製糖所農務課	4	作物班
H29.1.12	沖縄県中部農林高等学校熱帯資源科	42	病虫管理技術開発班、作物班、野菜・花き班
H29.1.13	奄美市大島地区農業青年クラブ連絡協議会	12	農業システム開発班
H29.1.17	神奈川県農業技術センター三浦半島地区事務所	2	野菜・花き班
H29.1.19	産業技術総合研究所	11	作物班

日程	団体名	人数(人)	対応班
H29.1.24	ザ・テラスホテルズ株式会社	6	野菜・花き班
H29.1.24	えひめ南農業組合宇和島青壮年部	8	作物班、野菜・花き班
H29.1.26	一般社団法人沖縄県農業会議	50	全般
H29.2.2	中部大学国際関係学部	1	作物班
H29.2.3	宮古地区就農青年クラブ連絡協議会	10	病虫管理技術開発班
H29.2.6	鹿児島県花き関係者	8	野菜・花き班
H29.2.10	糸満市女性団体連絡協議会	26	野菜・花き班
H29.2.15	佐賀県アスパラ部会委員会	18	野菜・花き班
H29.2.15	与論町農業技術連絡協議会園芸部会	4	病虫管理技術開発班、野菜・花き班
H29.2.16	金武町土地改良区	15	病虫管理技術開発班、野菜・花き班
H29.2.21	福岡県粕屋町農業員会	14	研究企画班、作物班
H29.3.3	横浜市大木野菜・果樹研究会(農家)	20	野菜・花き班
H29.3.7	愛媛大学大学院農学研究科土壌肥料学研究室	4	土壌環境班、野菜・花き班、病虫管理技術開発班
H29.3.9	ラオス副首相他(外務省東南アジア第1課)	18	全般
H29.3.10	JAおきなわ名護支店蔬菜生産部会	15	野菜・花き班
H29.3.15	韓国 慶尚南道 普州市 琴山面	7	野菜・花き班
H29.3.21	JAおきなわ真和志支店蔬菜生産部会、花卉・果樹生産部会	40	病虫管理技術開発班
H29.3.27	韓国農村庁園芸特作学院温暖化対応農業研究亜熱帯作物研究室	1	野菜・花き班

## XII 見学・視察対応

日程	団体名	人数(人)	対応班
H28.4.30	農林水産省農林水産技術会議事務局	2	名護支所
H28.5.16	農業生産法人(有)やえやまファーム:ピパーツ	1	石垣支所
H28.5.20	研の会(けんのかい):宮古島市、熱帯果樹	9	石垣支所
H28.5.24	三菱樹脂株式会社:東京都、農業資材	2	石垣支所
H28.5.26	日本園芸農業協同組合連合会	12	名護支所果樹班
H28.6.8	金武町パイン生産部会	13	石垣支所
H28.6.11	(国法)国際農林水産業研究センター	1	名護支所
H28.6.18	韓国済州特別自治道農業技術員	4	名護支所果樹班
H28.6.24	JAおきなわ南風原支店女性部	55	名護支所果樹班
H28.7.14	一般社団法人兵庫県農作物改良協会(水稲)	33	石垣支所
H28.7.16	鹿児島県徳之島園芸振興協議会	5	名護支所果樹班
H28.7.28	宮古総合実業高校	40	宮古島支所
H28.7.28	新規就農支援講座受講者(太陽熱消毒)	20	宮古島支所
H28.8.5	金武町紅茶生産組合	6	名護支所作物園芸班
H28.8.17	JAおきなわ玉城支店野菜生産部会	10	名護支所果樹班
H28.9.1	JA徳之島地区サトウキビ部会	20	宮古島支所
H28.9.14	沖縄県八重山農林水産振興センター 農林水産整備課	20	石垣支所
H28.9.17	JAおきなわ北部営農振興センター	2	名護支所果樹班
H28.10.5	糸満市さとうきび生産組合1	150	名護支所
H28.10.6	糸満市さとうきび生産組合2	150	名護支所
H28.10.27	JAおきなわ南風原支店果樹生産部会	25	名護支所果樹班
H28.10.27	鹿児島県農業開発総合センター 果樹部	3	石垣支所
H28.10.27	(国法)薬用植物資源研究センター、北里大学薬学部:サジオモダカ	2	石垣支所
H28.10.28	沖永良部果樹生産組合	20	名護支所果樹班
H28.10.30	鹿児島県奄美大島普及員(防風林視察)	1	名護支所果樹班
H28.11.2	台湾果樹研究員	4	名護支所果樹班
H28.11.9	JAおきなわ 糸満支店果樹生産部会	12	石垣支所
H28.11.12	名古屋大学教育学部附属高等学校	5	名護支所
H28.11.12	恩納村園芸農業活性化協議会	25	名護支所果樹班
H28.11.16	石垣ゴーヤー部会	10	宮古島支所
H28.11.17	上越市議会	8	名護支所
H28.11.18	JA南風原視察	30	名護支所果樹班
H28.11.22	宜野座区産業振興委員会	9	名護支所作物園芸班
H28.11.22	竹富町立 大原小学校	17	石垣支所
H28.11.25	就農サポート講座受講者	20	宮古島支所
H28.12.14	トウガン現地検討会(圃場視察)	30	宮古島支所



日程	団体名	人数(人)	対応班
H28.12.15	東京農業大学国際バイオビジネス学科マーケティング研究室	21	名護支所
H29.1.26	JA糸満支店果樹生産部会	50	名護支所果樹班
H29.2.2	金沢市稲作請負部会	15	石垣支所
H29.2.8	(独)農畜産業振興機構 那覇事務所	8	石垣支所
H29.2.16	種苗管理センター	2	名護支所
H29.2.21	日本自然エネルギー株式会社:東京都、サトウキビ	6	石垣支所
H29.3.13	(公財)日本植物調節剤研究会:水稲	2	石垣支所

XⅢ 参観者数

支所・班		区分	県内				県外	国外	計	
			農家	普及員	学校 教育機関	その他				小計
本 所	研究企画班			3	51	54	14	18	86	
	バイテクG					0		5	5	
	農業システム開発班					0	12		12	
	土壌環境班			30		30	7		37	
	病虫管理技術開発班	60		54	25	139	22	1	162	
	作物班	105	3	94	92	294	38	1	333	
	野菜花き班	102		82	244	428	88	13	529	
	小計	267	3	263	412	945	181	38	1,164	
名護支所(作物園芸班)			306			9	315		315	
名護支所(果樹班)			85			112	197	70	8	275
宮古島支所			10		40	70	120	20		140
石垣支所			25		10	38	73	63		136
合計			693	3	313	641	1,650	334	46	2,030

## 平成 28 年度 業務年報

平成 30 年 2 月 28 日発行

編集・発行

沖縄県農業研究センター

〒901-0336 沖縄県糸満市真壁820番地

電話 098-840-8500 (代表) Fax 098-840-8510

ホームページ : <http://www.pref.okinawa.jp/arc/>

代表 E-mail: [xx015063@pref.okinawa.lg.jp](mailto:xx015063@pref.okinawa.lg.jp)

印刷

みなみ印刷

〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城381番地の5

電話 098-889-2034 Fax 098-889-2034